

令和 6 年度第 1 回幹事会議事概要

日時：令 6 年 12 月 25 日（水）13 時 30 分～

場所：宜野湾市役所 第三常任委員会室

議題．新たな交通サービスの導入検討（進捗報告）

No.	主な指摘・ご意見	回答・対応方針
1	✓ 市内を 1 周するコミュニティバスは 10 年以上前に検討されたが、収支、利用率ともに難しいと考えていた。 ✓ ドア to ドアのニーズが大きいようなので、区域運行が良いと思う。 ✓ 実際に実施することになった場合、運営、運行の主体はどのように考えているか。	✓ 運行主体は決まっていないが市内にはタクシー事業者が 8 社あり、ヒアリングを行う中で、一部の事業者からは関心を持って頂いている。 ✓ 問題点としては、仮にデマンド運行を行う上では乗合事業の免許が必要になるが、バス会社と異なりタクシー会社はほとんど乗合免許を持っていない。実証運行は乗合免許がなくても 21 条許可で運行できるが、実装の段階で課題になってくる懸念はある。
2	✓ 乗合事業を検討しているということだが、南城市など、県内で事例があれば教えていただきたい。	✓ 県内の事例については、南城市のほか、最近では南風原町でも実証運行を行っており、10 月末に話を聞きに行った。 ✓ ジャパンタクシーという車両 2 台で町内全域を運行しており、7 月 1 日から実証を始めている。高齢者だけでなく学生の利用も多いと聞いている。
3	✓ 先ほども出たが、一般質問で何名かの議員から移動支援についての質問があり、現状ドア to ドアの要望が多いと認識している。一方で、2 ページにある通り、施策 12 で、歩くライフスタイルの普及拡大も掲げている。健康推進部としては、ドア to ドアだと、今まで徒歩で歩いていた方が歩かなくなるという点で、健康の面では逆行することになり、悩みどころだと感じている。	✓ ご指摘のとおり、ドア to ドアだと歩く機会が減少することにもつながりかねないので、検討事項だと認識している。

No.	主な指摘・ご意見	回答・対応方針
4	✓ 今回の実証事業は、補助制度の活用などは検討されているか。	✓ 共創 MaaS・実証プロジェクトという補助の活用を検討している。交通と他の分野の共創が求められるものであり、例えば医療介護、子育てなど、何らかの連携が必要になる。運輸局には、全国的に応募が多くハードルが高いと言われているが、今回の実証、ニーズ調査などに使える補助事業が限られており、活用の可能性があるものとして挙げている。またこの事業は、何らかの形で実証をすることが前提となっている。
5	✓ 実証は補助も活用できると思うが、実際に本格運行をしていく上では、やはりある程度の収支、稼働率が必要。地域公共交通計画で掲げた施策にも、公共交通空白地域における移動手段の確保、という目的が示されているため、ターゲットを絞ってスモールスタート的に成果が出せる内容にするのは良いのではないか。	✓ —
6	✓ 実証運行にあたっては、車椅子を使用される方など、特別な支援を必要とする方からの要望も挙がってくるかと思うが、どのように考えているか。 ✓ 区域外への移動は路線バスやタクシーの利用の基本とする、とあるが、その場合、バス停まで移動した後の待合環境の整備も検討する必要があるかと思う。考えを聞かせてほしい。	✓ 車椅子を使用される方、特別な支援を必要とする方へのサービスは、考える必要があると思っている。 ✓ バス停の上屋については、アンケート調査でも非常に多くのご意見をいただいている。国道や県道が中心になっており、道路管理者や近隣住民との調整などが必要になってくるが、公共交通計画にも位置付けているため、促進していきたいと考えている。

No.	主な指摘・ご意見	回答・対応方針
7	✓ 市民会館はイベントが多く需要の多い場所だが、嘉数の方からは、国道 330 号まで出てからバスを利用して移動する必要がある、不便な場所と認識されている。一方で、バス会社からすると、国道 330 号はバス路線が運行しており、施設のすぐそばにバス停があるため、営業妨害に当たると思われかねない。嘉数から普通に行くと不便な場所で、特定乗降ポイントに指定できれば需要があると思うが、バス事業との兼ね合いを判断した場合、特定乗降ポイントには指定できないのか。	✓ 市民会館は公共施設でもあるため、検討の対象になると考えるが仮に嘉数を想定した場合、役所まで距離があるので沖総局と相談して検討したい。 ✓ 仰る通りバス事業との整合も考える必要があるので、例えばイベント等の特定日に限ってやるとか、まだ研究不足ではあるが、そういったことも含めて考えていきたい。 ✓ 最初の実証運行では、あまり広くやるのではなく、ある程度区域を絞って利用実績、ニーズを分析してから広げていきたい。市民会館、役所へのニーズも当然あると思うが、日常の買い物、通院に比べると頻度は少ないと考えられる。そこも踏まえて、こういったことができるのかを検討したいと考えている。
8	✓ 令和 8 年度の実証に向けて、令和 7 年度は先ほど仰っていた自治会アンケートの精査や事業者との調整など、やることが多い印象を受ける。どのようなスケジュール感で進めるのか、教えていただきたい。	✓ 令和 8 年度の実証に向けては、運行を担ってくれる事業者がいるのが重要だと考えている。車や乗務員の確保など様々な課題があるが、まずは事業者と協議しながら、パートナーとなる事業者をイメージできるようにしていきたい。 ✓ 交通事業者との合意形成に最も時間が必要だと考えている。最終的には協議会での合意が必要になるが、その前に協議を行い事前に合意を得る必要がある。特にバス事業者との合意形成はとても重要だと考えている。 ✓ 手続き的なところでは、沖総局との調整や、道路運送法の許可など、関係機関との協議も必要になってくる。
9	✓ 区域を決めるのは大体いつごろになる予定か。	✓ 遅くとも今年度内には決めたいと考えている。

